

平成 30 年 10 月 15 日

報道関係者各位

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト  
理事長 田中日出男

### 台湾におけるマナーキッズ講師養成講習会開催の件

子供・若者の状況がおかしい。多くの人がそう感じるようになってずいぶん時間がたちます。人間としての基本的なマナーやルールに欠ける。私的空間と公的空間のけじめ感覚を持ち合わせない。傷つくのが怖いから他人と深く交わろうとしない。学びを含めて何事にも意欲がわかない。その上、体力や運動能力の面でもひ弱になった。そんな子供が増えつつあることを様々なデータは示しております。

公益社団法人マナーキッズプロジェクトは、このような子供・若者状況の是正に向けて、その一助になることを設立の趣旨に据えております。具体的には、幼稚園・保育園、小学校児童に対し、スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、＜体・徳・知＞バランスのよい子供を育てる活動を行っております。既に 47 都道府県及び台湾において、35 万人を超える幼稚園・保育園園児、小学校児童が参加しております。また、マナーキッズ教室を媒介とした体育・道徳融合授業は、38 都道府県 419 小学校、幼稚園・保育園において実施しております。

マナーキッズプロジェクトは、海外展開の一環として、2018 年 4 月に台湾を訪問し、マナーキッズ活動に対するニーズがあるかどうか事前調査を実施しました。台湾においても、日本の子供達と同じような傾向があるとのことですので、マナーキッズプロジェクト台湾支部を設立し、2019 年 1 月に台北市において、マナーキッズショートテニス教室、マナーキッズ体幹遊び教室及びマナーキッズでのひらテニス教室を開催しました。

今後、台湾においてマナーキッズ活動を積極的に推進するため、中華民国網球協会のご支援、ご協力を得て、下記の通り、マナーキッズ講師養成講習会を開催します。

マナーキッズプロジェクトの台湾での活動が一層幅広い日台友好親善につながることを、また、マナーキッズプロジェクトの海外展開のモデルになることを期待します。

#### 記

日時：2019 年 10 月 19 日（金）13：20～15：00

場所：台北網球中心（住所：台北市内湖区民権東路六段 208 号）

講師：公益社団法人マナーキッズプロジェクト理事長 田中日出男

対象：台湾テニス指導者

内容：でのひらテニス及びショートテニスを通じて、テニスを楽しみながら、美しい姿勢、体幹を鍛える方法と、台湾の幼稚園等でマナーキッズ教室を展開する方法について  
なお、2019 年 10 月 18 日（木）9：30～10：30 博如日本幼児園（台北市士林区克強路 10 巷 9 弄 29、31 号）、13：30～14：30 台北市立私立上群蒙特梭利信義幼児園（台北市大安区仁愛路三段 123 巷 5 号 1 楼）において、マナーキッズでのひらテニス教室を開催します。

以上

## 問い合わせ先

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長 田中日出男

電話：03-3339-6535 FAX：03-6426-1580 Email: [office365@mannerkids.or.jp](mailto:office365@mannerkids.or.jp)

URL: <http://www.mannerkids.or.jp/>

## 補足説明

### 1 マナーキッズ活動について



公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトは、幼稚園・保育園、小学校児童に対し、スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、<体・徳・知>バランスのよい子供を育てる活動を行っております。

まず初めに、日本の伝統的な美しい姿勢、挨拶の仕方を学んだ後、各種スポーツ等を通じ、繰り返し美しい姿勢、挨拶の仕方を反復練習します。

マナーキッズ教室に加え、早稲田大学スポーツ科学学術院元「正しい姿勢研究班」及び根本正雄根本わくわく体操教室代表の協力を得て、体育・保健体育の全スポーツ及び日常の学校、園生活を通して、正しい姿勢を体得するマナーキッズ体幹遊びを実施しております。引用：東京都教職員研修センター「子供の体幹を鍛える～正しい姿勢のもたらす教育的効果の検証～」

さらに、フォローの一環として、明石要一千葉敬愛短期大学学長の提言により、幼児期、小学校期に身につけるべき、言葉、お辞儀・挨拶、歩き方・姿勢、生活、社会規範を明確にし、それに向かって、本人、保護者、教師が一体になって取組み、次代を担う子供たちが将来、世界各国の人々から尊敬される日本人になる一助にするため、「マナーキッズ」調べを実施しております。

なお、全国で初めて予算化した品川区の浜川小学校から「規律正しい児童は学力も大きく向上する」

ー「マナーキッズ」を「市民科授業」に取り入れてーという事例報告がされています。

## 2 マナーキッズショートテニス教室について

4分の1のコート、ネットは低く、ラケットは軽くて小さい、ボールは通常より柔らかいボール、年齢に関係なく誰でもすぐにボールが打てるようになります。

マナーキッズショートテニスを通じて、美しい姿勢他を体得します。

## 3 マナーキッズでのひらテニス教室について

幼稚園園児向けの軽く、柔らかな素材でできている「てのひらけつと」があります。

小さな子は「グー」じゃなくて「パー」が得意。個人差がありますが、鉛筆で綺麗に字が書けるようになる年令くらいまでは、ラケットを握り、振ってボールを打つ、というのは難しい動作です。「てのひらけつと」は、振った状態ではなく、手を開いた「パー」の状態で打球し、手のひらの感覚でボールを扱うため、比較的簡単にボールを打つことができます。そのため、早いうちからテニスに必要な様々な能力を養うことができます。

マナーキッズでのひらテニス教室を通じて、美しい姿勢他を体得します。

## 4 マナーキッズ体幹遊び教室について

体幹とは、頭と手足を除いた胴体の部分を意味し、胸部、腹部、腰部、背部の4つで構成されています。人間でいうところの中心部、つまり幹は、主に背骨から腰にあたる脊柱です。その体幹部の筋肉をしっかり鍛えることで、これらの骨が安定し、正しい姿勢を維持できます。体幹遊びは、幼児、児童に遊びを通して、体幹を鍛えることをねらいとしております。

体幹を鍛えることで、幼児、児童の運動能力を高めることができます。例えば、ボールを投げる動作は、腕の筋肉を使ってボールを投げだすのではなく、体幹のひねりを上手に生かし、そのエネルギーを腕に伝えることで大きな力でボールを送りだしております。

また、体幹は多くのダイナミックな動きの中心となる部分で、この部分をきちんと意識することにより、バランス感覚が研ぎ澄まされ、大きな動きができるようになります。結果として、筋力、持久力、敏捷性、柔軟性などの運動能力が高まります。幼児・児童期から体幹遊びを体験させることが重要です。

マナーキッズ体幹遊び教室を通じて、美しい姿勢他を体得します。

以上